

科目名 (科目番号)	公衆衛生 看護学実習Ⅰ (076723)	教員名	麻生保子 鈴木悠圭 長堀智香子	学科等	看護	コース必修	履修年次	3
				曜日・時限等	実習		単位数	1
				オフィスアワー		各教員研究室		
授業概要	情報の収集・分析など一連の方法・技術を通して、地域特性や地域で生活している人々の健康状態や健康問題を把握し、地域特性に対応した公衆衛生看護活動を考える。この実習は公衆衛生看護実習Ⅱにつながる地域診断の実践的手法を学ぶ。 関係する垂直軸:看護、健康の状態、生活環境							
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
			<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政資料や統計資料等を分析し、対象地域の地域特性について理解できる</li> <li>2. 地域踏査を通して、生活環境や社会資源を把握できる</li> <li>3. 対象地域の住民の健康状態や生活実態について理解し、地域の健康課題を抽出できる</li> <li>4. 実習結果を発表し合い、実習地域の健康課題の共有と地域を幅広く捉える視点を養うことができる</li> </ol> <p>学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政資料、統計資料等よりデータ収集の方法を学習する</li> <li>2. 実習地域に赴き、地域踏査の方法を学習する</li> <li>3. 行政資料、統計資料、地域踏査等で得られたデータから健康課題を抽出し、対応策を検討できる</li> <li>4. まとめの会を実施し、各実習地域の地域特性や地域の人々の健康課題について学びを共有する</li> </ol>					
成績評価の方法・基準	事前課題10%、実習50%、グループ作成レポート（地域診断レポート）20%、個人提出レポート（実習記録・実習終了レポート）20%							
教科書	地域看護アセスメントガイド アセスメント・計画・評価のすすめかた第2版(購入済)			佐伯和子 編		医歯薬出版株式会社		
参考図書	必要時、紹介する							
教員からのメッセージ	事前課題、レポートはコメントを付して後日、返却します。実習は評価表を用いて評価します。							